

銅部品用変色防止剤

【従来の問題点】

- ・変色防止液を長時間使用していると、水分が蒸発し、変色防止剤の配合物が析出し、変色防止処理槽の水面にスカムとして浮遊し、銅製品に付着し汚れとなる問題がございました。
- ・通常の銅用変色防止剤では、銅合金によっては、夏場などの高温高湿時に効果が弱く、変色する場合がございます。



【解決】

- ・浮遊物の発生が抑えられ、銅製品ならびに処理槽への汚れの発生を抑制できます。
- ・通常の銅用変色防止剤に比べ各種銅合金に高い変色防止効果を発揮し、保管条件の厳しい場所でも高い変色防止効果を発揮いたします。

【その他の特徴】

- ・銅への濡れ性に優れているため、均一な変色防止皮膜を銅表面に形成します。
- ・重金属類は一切配合していません。
- ・泡立ち性がないため、変色防止液を銅製品に吹きつける工程でもご利用いただけます。
- ・酸洗後の変色防止処理において、硫酸・塩酸などが変色防止液に流入し、変色防止液のpHが下がった場合でも、銅製品は変色しません。

【性能】



黄銅 変色防止未処理 1日後 変色発生



黄銅 3%変色防止処理品 16日目変色なし

- ・高温・高湿下の条件でも各種銅合金に対して高い変色防止効果を発揮します。(温度 50°C×湿度 95%の条件下)

試験片	銅製品用変色防止剤 3%
りん脱酸銅	17日目で変色
りん青銅	17日目で変色
黄銅	17日目で変色
コルソン合金	20日目で変色
ベリリウム銅	17日目で変色
洋白	17日目で変色

【使用方法】

銅部品用変色防止剤をご使用前に、処理する表面を洗剤などできれいに洗ってください。

銅部品用変色防止剤を純水に3~5wt%添加して室温~80°Cで3秒程度浸漬またはシャワー処理し、リンス処理(水洗)後、乾燥してください。

【使用例】

- ・銅製品、銅部品の加工後の変色防止、及び銅条の保管時の変色防止
- ・銅メッキ後の変色防止

【取扱い上の注意】

この資料に掲載した物生面は各種規格や試験法に規定された条件下で得られた試験片等に基づく測定値または代表的な数値です。この資料は当社が蓄積した経験および実験室データに基づいて作成したもので、ここに示したデータは異なった条件下で使用される材料、部品などにそのまま適用できるとは限りません。この内容が貴社の使用条件にそのまま適用できることを保証するものではなく、活用に関しては貴社にて最終判断をお願いします。当社製品の安全な取り扱いにあたっては、安全データシート「SDS」をご参照下さい。この資料の内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により予告なく改訂することがありますのでご了承下さい。